



アリシア

# リヒテンブルグ魔法学園 特別講義 01



エンヴィー

エンヴィー：……なんでこんなわけのわからない講義に、あたしが出なくちゃならないんだ？  
 アリシア：エンヴィーちゃん、そんな事言っちゃダメだよ～……せっかく『リヒテンブルグ魔法学園』  
 について、おさらいをしてもらえんだから。  
 ユーナ：それに、別教科の足りない単位も補填してくれるって言うんだから……エンヴィーにとっては  
 渡りに船じゃないの？  
 エンヴィー：く……ま、まあ、特にする事無いから、出てやってもいいけどさ。  
 アリシア：うふふ、良かった～……エンヴィーちゃん、偉いです～  
 エンヴィー：あ、あのさ、アリシア。それ止めてくれない？……まるであたしが、ガキみたいじゃないの。  
 アリシア：えー、そうですか～？ エンヴィーちゃんの頭って、撫でてて気持ちいいですよ～  
 ユーナ：まあ、ガキと言えばガキかな？ 主に身長とか、胸とか。  
 エンヴィー：……えーと、講義の内容は『化け猫の黒焼き』の作り方だけ？  
 ユーナ：『洗濯板のヌードデッサン』じゃなかったか？ 喜ぶ人は少なそうだけど。  
 アリシア：あわわ！ 二人とも、こんな所でレイテンスなんか出しちゃダメですよ～  
 リゼット：ほらほらエンヴィー、ユーナ……先生がいらっしゃったわよ、そのくらいにしておきなさい。  
 レティーシャ：あいからわず賑やかな、あなた達は……  
 エンヴィー：げげっ！ 色気ババァっ！  
 レティーシャ：……エンヴィーの声が聞こえたけど、姿が見えないわね。  
 エンヴィー：あん？……どこ見てんだよ？ 目の前に立ってるじゃん。  
 レティーシャ：あらあら、そんな所にいたの、エンヴィー？……この大きくて美しい胸に隠れて、  
 姿が見えなかったわ。  
 エンヴィー：……  
 レティーシャ：いつもの帽子を被ってるならともかく、帽子を被ってない時は私のすぐ前に立たないように  
 に……いいわね？ 踏んづけちゃうと困るから。  
 ユーナ：にゃははははっ！ 確かに先生の前に立っていると、エンヴィーって胸に隠れて見えなくなっ  
 ちゃうね～  
 アリシア：ゆ、ユーナちゃん……これ以上エンヴィーちゃんを刺激しない方が……  
 エンヴィー：むきーっ！ 無駄にでかいモンがら下げてるからって、いい気になるなァーっ！  
 リゼット：……エンヴィー、授業中は静かにね。  
 エンヴィー：こ、これが黙っていられるかーっ！  
 リゼット：……静かにね。  
 エンヴィー：う、ううう……は、はい。  
 ユーナ：にゃはははははは！ 怒られた～怒られた～  
 リゼット：ユーナ、あなたもよ？  
 ユーナ：にゃっ！？  
 アリシア：は～……リゼットさんの笑顔は、いつも効果絶大です～  
 エンヴィー：……その裏に透けて見えるモノが、怖いだけだって。  
 レティーシャ：さて、今日は『リヒテンブルグ魔法学園』についての特別講義なんだけど……  
 めんどくさいからリゼット、任せたわ。

ユーナ：は、早っ！  
 リゼット：はい……ではまず、簡単な説明から。  
 リゼット：ここ、『リヒテンブルグ魔法学園』が掲げているモットーは、「論理と実践」です。  
 リゼット：魔法を、系統立てた学問として学ぶ……それが「論理」ですね。  
 リゼット：そして、「その学んだ事を生かす」実践」にあたるのが……「課外実習」という授業です。  
 リゼット：この「課外実習」は、論理だけではどうにもならない経験や判断力といったもの  
 を養うためのフィールドワークであり……遺跡の探索やモンスター退治など、  
 魔法の力を最大限に生かせる活動に重きを置いています。  
 リゼット：さらに学園では、そういったフィールドワークに必要な技術……語学、薬学、  
 剣術、体術といった様々な技術も教えています。  
 リゼット：そして独りでは困難な場面も、仲間がいれば乗り越えられるという事を学んで  
 もらう為に……クラス内で「課外実習グループ」を作り、卒業までの間苦楽を共に  
 してもらっています。  
 エンヴィー：簡単な内容なら、あたしは独りの方がやりやすいけど……あれ？ そういえば、ガイと  
 ルーディがいらないね？  
 リゼット：そういえば、女の子達だけ集めれば良いとおっしゃってましたけれど……どういった意図  
 だったのでしょうか、先生？  
 レティーシャ：ん～……何となく今日は、女の子を愛でたい気分だったから。  
 ユーナ：……  
 アリシア：あ、あはは……  
 エンヴィー：はあ、疲れる……で、女の子だから金ぴかが呼ばれてるんだ。  
 エルフフリーデ、……もしかして金ぴかと、私の事かしら？ エンヴィー？  
 エンヴィー：うん……だって、金ぴかじゃん。  
 エルフフリーデ……やはりあなたには、衣服と美というものを叩き込んで差し上げなければなりませんわね。  
 エンヴィー：あたしは、あたしの価値観で満足してるの……余計なお節介は、いらぬよ。  
 エルフフリーデ：おだまりなさい！ 背と胸の無いあなたに、選取の余地はありませんわ！！  
 エンヴィー：む……連敗記録を更新するの、止めといてあげようと思ったんだけど……そういうコト言うんだ。  
 エルフフリーデ：ふん！ つまらない情けは、無用ですわ！！  
 ユーナ：あーあ、また始まっちゃった。  
 リゼット：止めますか、先生？  
 レティーシャ：ん～、このままでいいわ……今日はこのくらいで、終わりにしちゃいませよ。  
 リゼット：……次は真面目に、お願いしますね。  
 アリシア：あ、白熱したバトルの前ですけれど～……『魔剣少女エンヴィー  
 ～Blade of Latens: 炎の継承者～』は、今秋発売予定です～  
 アリシア：ファンタジー世界を舞台に、可愛くも勇ましいヒロイン達が暴れまくりです。  
 シミュレーションRPGシステムに、『萌え』&『燃え』をミックス！  
 エッチシーンも、多数用意されていま～す……私も、その被害者ですが～  
 ユーナ：アリシア、さっきから誰と話してるの？  
 アリシア：え、えーと……これは、お約束なんです～  
 エルフフリーデ：いざ、参りますわよ！  
 エンヴィー：ふん、返り討ちにしてあげるよ！  
 アリシア：え、えーと……エンヴィーちゃんは、ホントはとっても優しい子ですから。  
 みなさん、応援してあげてくださいね～

